

JF日本語教育スタンダード タスクと評価基準の例 書くこと B1

	評価対象	不 達 成	惜 し い が 不 達 成	ほ ぼ 達 成	達 成	大 幅 に 達 成
内容	4つの情報が含まれている(3点) (a)あなたの町でランニングができるか。できる場合、詳しい情報。できない場合、その理由。 (b)あなたも一緒にランニングをするか。する(しない)場合、その理由。 (c)好きなスポーツとその理由。 (d)ランニング以外にできるスポーツについての詳しい情報。	0	1	2	3	4
構成	B1 短めの、単純で、バラバラな成分をいろいろ結び合わせて、直線的に並べて、繋がりをつけることができる。 (2～3点) =====	0	1	2	3	4
言語能力	B1(語彙) 複雑な考えや、非日常的な話題や状況に関して何かを述べようとする、大きな誤りをすることがあるが、初歩的な語彙は使いこなせる。 =====	0	1	2	3	4
	B1.1(文法) 比較的予測可能な状況で、頻繁に使われる「繰り返し」やパターンのレパートリーを、割合正確に使うことができる。 B1.2(文法) 馴染みのある状況では、割合正確にコミュニケーションを行うことができる。多くの場合高いレベルでの駆使能力があるが、母語の影響が明らかである。誤りも見られるが、本人が述べようとしていることは明らかに分かる。 =====	0	1	2	3	4
	B2.1(文法) 比較的高い文法駆使能力が見られる。誤解につながるような間違いは犯さない。 =====					
	B2 語彙的な正確さは一般的に高い。多少の混乱や間違った単語の選択もコミュニケーションを邪魔しない範囲である。 (4点)					
読み手意識	読み手を意識した書き方をしている。(3点)	0	1	2	3	4
課題達成度		8点以上ならB1				